

---

## GlobalDoc5

### 制限事項

---

#### GlobalFlow5 の制限事項

---

- ・セキュリティマスター編集画面にて、セキュリティ簡易設定表示にて権限を設定する場合ワークフローで使用する「書類監視権」に関する権限の設定はできません。  
設定する場合は、セキュリティ詳細設定表示に変更して、設定を行ってください。
- 

#### GlobalDoc5 の制限事項

---

- ・1.00R06 以前に削除されていた添付ファイルが、バージョンアップ後、WebDAV を利用する環境の場合、ごみ箱に WebDAV 文書として表示されてしまう可能性があります。  
※このデータはごみ箱削除ツールで削除されます。
  - ・1.00R06 以前に添付ファイルを削除し、その文書を移動していた場合、バージョンアップ後、以下の不具合の影響で、その文書の添付ファイルとして復活してしまいます。  
「Binder クラスの move メソッドを実行すると、束ねられていた削除状態の Document が復活してしまう不具合を修正しました。」
  - ・ActiveX を利用しない環境で固定書式を末尾に挿入した場合、1 行目が改行だけの場合、1 行目の改行がなくなります。
- 

#### ブラウザ

---

##### ■Internet Explorer

- ・ActiveX を使用する設定にしている場合、ActiveX を使用している部分は印刷時に正常に印刷されません。
- ・ブラウザのステータスバーに表示されるプログレスバーが、伸びたままになることがあります。

##### ■Internet Explorer 6

- ・UTF-8 で記述されているページを表示しているときに、ブラウザの文字サイズが表示していたサイズから切り替わる場合があります。

#### ■Windows Internet Explorer 7

- ・添付ファイルを自動で開く設定にしているのに自動で開かない、または、自動で開くが、ファイルをダウンロードできない場合があります。

→回避策は以下の通りとなります。

[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定を有効にします。

これを行うには、次の手順を実行します。

1. ブラウザーのメニューバーから[ツール]→[インターネットオプション]を選択します。
2. [セキュリティ]タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
3. [ダウンロード]グループにある[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定で、[有効にする]を選択します。
4. [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

- ・Windows XP の環境で、Windows Internet Explorer 7を使用してファイルをダウンロードできない場合があります。

→回避策は以下の通りとなります。

この問題を回避するには、詳細なテキスト サービス機能を無効にします。これを行うには、次の手順を実行します。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
2. 「control international」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
3. [言語]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
4. [詳細設定]タブをクリックし、[詳細なテキスト サービスをオフにする]チェックボックスをオンにして、[OK]ボタンを2回クリックします。

※右記のサイトからの抜粋。 <http://support.microsoft.com/kb/932823/ja>

#### ■Firefox 1.5. x

- ・詳細検索編集画面・コレクション編集画面・シンプルタスク編集画面でフォルダー名が長い場合、検索対象が文字化けする場合があります。

- ・ログイン直後のステータスバーに「～からデータ転送中..」が表示されたままになる場合があります。

#### ■Netscape 7.1

- ・Flash Player Version 9,0,28,0 は Netscape 7.1 では正常に動作しません。  
Version 9,0,16,0 にて動作確認を行っております。

- ・ブラウザを最大化にしている状態で画面の操作を行うと、最大化が解除されることがあります。

- ・添付ファイルをダウンロード、または参照した場合に、添付ファイル名にヘッダー情報が表示されます。保存時にファイル名を修正してください。

- ファイルをダウンロードする場合、ファイル名の最後に「.do」が付加される場合があります。保存時にファイル名を修正するか、または次の手順を実行します。
  1. ブラウザーのメニューバーから[編集]→[設定]を選択します。
  2. カテゴリのツリーから[Navigator]→[サポートアプリケーション]を選択します。
  3. 「ファイルタイプ」から「application/x-download」を選択し、[編集]ボタンをクリックします。
  4. 拡張子「.do」を削除して、[OK]ボタンを2回クリックします。
- ウィンドウのスクロールする場合、マウスホイールは使用できません。
- リサイズ時に罫線がずれる場合があります。
- ログイン直後のステータスバーに「～からデータ転送中..」が表示されたままになる場合があります。

---

#### 簡易承認機能

---

- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認文書を登録する場合、セキュリティ設定の[上位の設定を使用する]チェックボックスをオフことはできません。
- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、承認フォルダーの「キーワード設定」を変更した場合、承認文書のキーワードも承認フォルダーの設定に従って変更されます。

---

#### フォーム文書

---

- 部品の NAME 属性に日本語を入力した場合、フォーム文書の登録、更新時に JavaScript エラーが発生する場合があります。

---

#### 全文検索

---

- 簡易検索、詳細検索画面で検索条件に全文検索を含む場合、検索結果をソートすることはできません。

---

□機密文書管理機能

---

- キー登録を行う場合に利用できる認証コードは、50 文字までです。50 文字以降は切り捨てられます。
- 1 文書 1 添付ファイル機能利用時、機密文書の更新を行なった場合には、Doc5 の文書更新画面には更新ボタンが表示されないにも関わらず、マイキャビネットブラウザには『GlobalDoc の「更新」ボタンを押下してください。』というダイアログが表示されます。1 文書 1 添付ファイル機能利用時には、更新ボタンをクリックする必要はありませんので、そのまま [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

---

□サーバーツール

---

- 削除対象のフォルダー、文書数が多いとき、ごみ箱文書削除ツールのデータベース処理でタイムアウトが発生する場合があります。タイムアウトが発生した場合は、データベースのタイムアウト時間を長く設定するか、-r、または-dr オプションで、削除対象が少なくなるように(※)指定してください。  
※-r オプションを使用する場合は、「日数」に指定した値よりも大きな値を指定します。  
-dr オプションを使用する場合は、指定した日付よりも過去の日付を指定します。
- システム環境設定の「更新前文書を表示」を「する」に設定している環境で、サーバーツールを実行した結果、バックアップ階層を越えた場合、指定した更新者ではなく、ツール実行者の「更新前文書」一覧に表示されます。

---

□ファイルのダウンロード

---

- 添付 ActiveX を使用していない場合、保存ファイル名の初期値は「文書 ID. 拡張子」の形式になります。
-